



株式会社 イオン銀行 様

AEON BANK,LTD.

OUTLINE

SaaS 型 e ラーニングサービス導入により全社一律的な研修の実施と運用効率化を低コスト・スピーディに実現

USER'S VOICE

川崎 大輔 氏 | 株式会社イオン銀行 システム部



「履歴管理が容易か、難しい知識やノウハウがなくても教材作成・登録を実行できるか、動画を配信できるか、そして対応の速さをポイントに評価を行い、導入を決めました」

| 課題 | 効果 |
|----------------------------------|--|
| ●店舗を全国展開しているため、定期的に集合研修を行うことが難しい | ●全社員に対し、eラーニングで一律に研修・テストの実施が可能に |
| ●研修の運用および受講履歴の管理を容易に、かつ効率的に行いたい | ●充実した管理ツールの活用により、運用管理を効率化、全社員について履歴を継続的に記録 |
| ●導入コストを抑え、早期導入し、ただちに運用を開始したい | ●サーバを導入する必要がなく、低コストで導入が可能。導入期間も短く、早期運用を実現 |

| SaaS | PaaS | IaaS | DaaS | Network | プライベートクラウド |
|-------------------|---|------|------|---------|------------|
| クラウドを選んだ理由 | インターネットに接続できるブラウザ環境があれば利用が可能。自社でサーバを用意する必要がなく導入コストを抑えられ、なおかつ短期間での導入・運用が可能 | | | | |
| 採用のポイント | 使い勝手のよさ。研修やテストの運用・管理の手間がかからない | | | | |

概要

「商業と金融の融合」「リテール・フルバンキング」をコンセプトに全国イオングループのショッピングセンター内に店舗展開する株式会社イオン銀行は、365日毎日、原則9時から21時までの営業体制に対応したシフト勤務体制のなか、集合研修の限界という問題に直面していた。どうすれば全社員が同じ条件で研修、テストを受けられるか。この難題に応えたのが SaaS 型eラーニングサービスだった。

2008年12月、富士通の「e-Learning Navigware」を導入した同社は、全社員が自分の勤務地で好きな時間に同じ条件で研修・テストを受講できるeラーニング環境を構築。操作性の高い運用・履歴管理機能、教材作成機能により、研修の運用・管理業務の大幅な効率化を実現した。

ユーザープロフィール

株式会社 イオン銀行

所在地：東京都江東区 枝川1-9-6
代表者：代表取締役社長 片岡 正二
設立：2006年5月15日
事業内容：銀行業
従業員数：632名(2010年4月1日現在)
URL：http://www.aeonbank.co.jp/

User Profile

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

関係者の方々



長澤 真由美 氏
株式会社イオン銀行 研修部
研修グループ 統括マネージャー



那須 しのぶ 氏
株式会社イオン銀行 研修部
研修グループ



人見 玲子 氏
株式会社イオン銀行 研修部
研修グループ

集合研修の限界を超える 柔軟なeラーニング環境を求めて

株式会社イオン銀行が、場所や時間に縛られず、各店舗で好きな時間に受けられるeラーニング導入の検討を始めたのは、開業翌年の2008年9月。背景には、全国に店舗を展開し始め、集合研修の実施がきわめて難しい状況になったことがある。同社研修部 研修グループ 統括マネージャーの長澤真由美氏は「使い勝手がよいことに加え、早期導入が可能で、すぐにも運用を開始できることが条件でした」と振り返る。

新システム導入の検討にあたったシステム部の川崎大輔氏はこう語る。「富士通および富士通エフ・アイ・ピーを含む5社から提案されたeラーニングシステムについて、履歴管理が容易か、難しい知識やノウハウがなくても教材作成・登録を実行できるか、動画を配信できるかなどをポイントに評価を行い、富士通の『e-Learning Navigware』を選定しました」。

全社員への一律的教育体制が実現 管理運用作業も効率化

SaaS型eラーニングサービス「e-Learning Navigware」の特長は、インターネットに接続できるブラウザ環境があれば、低コストで早期導入が可能であり、短期間で本格的なeラーニングを展開できる点。2008年11月に導入を決めた同社は翌12月に早くも稼働を開始した。

研修・テストを実施する際には、教材を登録し、対象社員を設定し、決められた期限までに受講するように通知する。対象社員は勤務時間中の好きな時間帯に研修やテストを受けることができる。そして受講状況をひと目で把握でき、全社員について受講内容や成績などが履歴として継続的に記録されるなど、研修の運用管理および履歴管理が簡単。さらに蓄積されたデータを抽出して受講率や正答率などの分析に役立てることもできる。

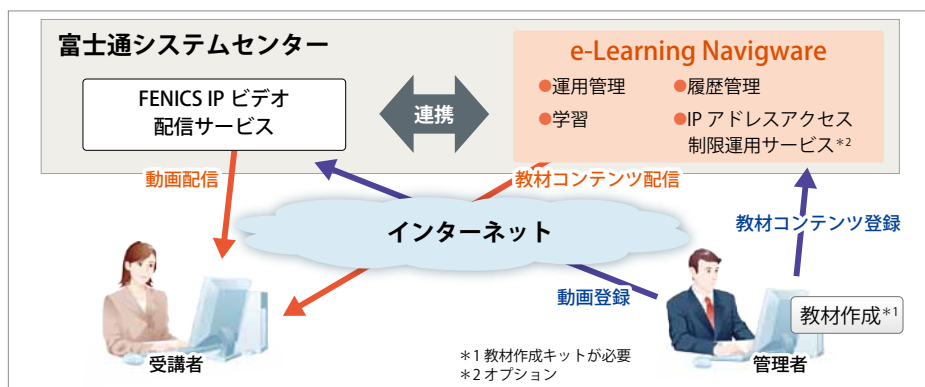
また同社では、教材作成キットによる独

自教材作成機能、「FENICS IPビデオ配信サービス」との連携による動画配信機能も利用。オプションの「IPアドレス アクセス制御運用サービス」により、機密性の高いコンテンツは社内からのみアクセス可能というセキュアな環境を構築した。

自社ニーズに合った 管理・運用を推進

「e-Learning Navigware」は、研修・テスト受講の場所と時間の制約を取り払うのみならず、集合研修の宿命ともいえる講師の力量差による学習レベルのばらつきの問題も解消した。使い勝手のよさについて研修部研修グループの那須しのぶ氏は、「受講履歴を自動的に残せるというのが大きいですね。管理の手間がかからないし、いつでもデータを引き出して活用できます。Excelで管理しているときと異なり、間違っ

てファイルを削除したり上書きしたりしてしまう心配もありません」と語る。また同グループの人見玲子氏は、「最近では、教材は単元を短かく区切る、テストには中断機能を付けるなど、短時間で受講できる工夫もしています」と一歩進んだ活用について述べる。富士通 SaaS 型サービス「e-Learning Navigware」は、躍進する同社の教育研修基盤を力強く支えている。



システム構成図

製品の詳細はwebにてご覧ください。 <http://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/>

お問い合わせ先

富士通株式会社

サービスビジネス本部
クラウドビジネス推進室

Tel: 03-6424-6257

〒144-8588 東京都大田区蒲田1-17-25富士通ソリューションスクエア